

緑が丘だより 1月

2016年 1月8日(金)
綾上中学校 (第 34 号)

【学校教育目標】 : 明るい未来を創造する 心豊かでたくましい生徒の育成

<http://www.town.ayagawa.kagawa.jp/ed/ayakami-j/>

2016年がスタートしました

新年明けましておめでとうございます。暖冬とはいえ、これからは一層厳しい寒さが訪れ、本格的な冬を迎えます。皆様方におかれましては、健康に留意されお過ごしくださるようお願いいたします。新年を迎え、平成27年度の教育活動のまとめをしっかりとおこない、本校が一層「飛躍する年」にしていきたいと思っております。

さて、3学期は学期の中で一番短く、授業日数が52日しかありません。特に3年生は卒業式まで、44日です。よく「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われるように、月日が瞬く間に過ぎていく感があります。しかし、この学期は1年間のまとめの学期であり、次年度への準備の学期でもある大変重要な期間です。是非有終の美を飾ってほしいと思っております。生徒の皆さん一人一人の活躍を大いに期待しています。特に、3年生は受験期のまただ中で、10日から私立高校の受験が次々と始まります。大きな試練に立ちます。是非、持てる力を振り絞り、目指す「夢」の実現に向かって奮闘し、大きな成果が上がることを祈っております。

道志真弓さん、命の講演

12月4日、道志真弓さんをお迎えし、命の講演会を行ないました。講師の道志真弓さんは、元、北日本放送のリポーターや熊本朝日放送のナビゲーター、熊本日日新聞の情報誌の料理コラムニストとして活躍されていた方です。道志さんは、結婚後、5年間の不妊治療を行いながら、待望の赤ちゃん「弓華（ゆみか）さん」が生まれます。難産の中、生まれた弓華さんは、話せない、歩けない、泣くことすら命にかかわる病気。世界にたった30数例しかない症例「14トリソミー」でした。歩くことも話すことも出来なかったけれども、笑顔が絶えない8年間。たくさんの思い出と「生きる」ことの素晴らしさを教えてもらったと、道志さんは話をしてくださいました。

(3年女子生徒の感想)

道志先生の講演を聴いて、弓華ちゃんは最後まで家族やいろいろな人たちに愛されながら旅立ち、幸せだと思います。自分が当たり前のように歩けること、話せること、生きていることは、本当はかけがえのないことだと分かりました。今、生きていけることに感謝し、後悔のない人生にしたいです。そのために、何でも挑戦する。家族への感謝の気持ちは、思ったときに言う。私も誰かにとってかけがえのない人になれるように、毎日の生活態度を見直していきます。



